



～農家の皆さん、生産したお米は全量、指定集荷業者へ、出荷しましょう！～

農家の皆さんが、丹精込めて作られた「お米」の収穫・出荷の時期となりましたが、最近、自由米と称して不正規に（ヤミ米）市場へ、一部が出回っています。

このことが助長すると、農家自身が守らなければならぬ食糧管理制度を揺るがし、生産農家全体に迷惑を招くことになりかねません。

このため、県・食糧事務所・集荷業者・農業団体等が一体となり「ヤミ米は売らない・買わない・運ばない」のスローガンを掲げ、米の全量集荷、ヤミ米の監視などを推進しています。

未出荷のお米はありませんか！



着工から5年、完成をまつ月潟中学校全景

村民スポーツの拠点に 大きな期待を込め

中学校体育館が完成

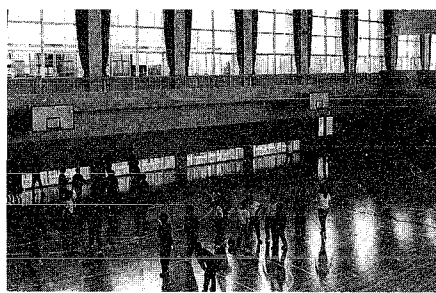
昨年11月、建設に着手した中学校体育館が完成し、2学期から使用が開始されました。

この体育館は、総工費約4億7千3百万円をかけ、鉄筋コンクリート造り、一部2階建てで総面積を1,855平方メートルと広くとり、1階にはバスケットコート2面を、2階は1周120メートルのランニングコースや22平方メートルのトレーニングスペースを設けてあります。

設備の方でも、バレーコート2面、バドミントンコート6面、テニスコート1面分の各支柱やネットが備えられています。

また、一般開放用に、専用の昇降口や更衣室、便所、用具庫、ミーティングルーム、車イス用便所なども配備し、村民体育館を兼ね備えた十分な施設となっており、村民の方々からも大いに利用して頂けるものと期待されています。

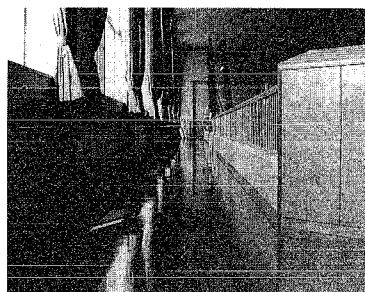
体育館の完成で、元年度に



▲バスケットコートも2面とれ広々と

用地を確保し以後、埋土、土留、そして校舎棟建設と取り組んできた一連の中学校移転改築工事も、あとは、グラウンド整備工事の完了を待つのみとなっています。

この工事中のグラウンドは、雨あがり後、短時間で使用できるよう表層にグリーンサンドを取り入れ、施設では、直線100メートル、1周200メートルのそれぞれ8コースの走路や、走り幅飛



▲ランニングコースもゆったりと

秋の全国交通安全運動

『なぜ交通事故は起きるの？』

これは、ある交通遺児が作文に書いた言葉です。

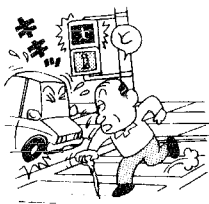
ある日突然、交通事故でかけがえない家族を失う――幼い子どもたちは「自分に何が起こったか?」どうしてこうなったのか? 理解に苦しむことでしょう。そんな子供たちの素朴な言葉。あなたにはどう聞こえますか。

交通事故の多くは、ちょっとした気の緩みが原因で起きています。1人1人が、正しい交通ルールと交通マナーさえ身につけていれば、こんなにも多くの人が交通事故に遭って悲しむことはないのです。

今年も5月末現在で、約27万件の交通事故が発生し、約33万人が負傷、4,290人の尊い命が奪われています。昨年と同じ時期と比べ、幸いに死亡者の数は減っているものの、交通事故の発生件数や負傷者は依然として減ってはいません。

65歳以上が死亡者の1/4を占める

ここ数年の傾向として目を引くことは、特に交通弱者といわれるお年寄りが、交通事故に遭うケースが多くなっていることです。交通事故で亡くなる人の



約1/4は65歳以上のお年寄りです。められているのです。

では、どうしてお年寄りの交通事故が増えているのでしょうか。まず、お年寄りの死亡事故は歩行中が最も多くなっています。お年寄り自身、年を重ねるにつれ体力が低下し、反射神経が衰えてくるにもかかわらず無理な横断をしたり、あるいは車のほうが止まってくれぬだろうというような「思い込み」をしたりすることに原因があるようです。暗い夜道などを歩くときには、反射材を身につけ自分の存在を

秋の交通安全運動

平成5年9月21日～9月30日

『夜の道 わが身を守る 明るい服装』



周囲に知らせるようにしましょう。

「ドライバーとして 当然のことを心がける 一方、自動車を運転するドライバーも、「お年寄りが歩いている」「自転車に乗っている」ということを確認して、最善の注意を払うことが大切です。そして、最も大切なことは、正しい交通ルールやマナーを身につけておくこと。つまり、ドライバーとして当然のことをしていれば、事故を防ぐことができるのです。